No.379
平成28年(2016)
4/1
広報 西東京
「西東京市からのお知らせ」
FM 西東京(84.2MHz)
❶午前9時～9時15分(月～日曜日)
❷午後8時～8時15分(月～金曜日)

声の広報をお届けしています
知り合いで希望される方がいらっしゃいましたら
谷戸図書館(☎042－421－4545)へ
お問い合わせください

4月12日は 西東京市平和の日

平和のリング「田無駅北口」

平和の日イベント

時 4月9日㈯～12日㈫
場 アスタビル2階センターコート

市は条例で4月12日を「西東京市平和の日」と定めています。
昭和20年のこの日、米軍のB29爆撃機の空襲により、この地域では多くの尊い命が失われました。
長い年月を経ても、戦争の体験を風化させることなく平和の意義を語り継ぐために、「西東京市平和の日」を中心にさまざまな催しを行います。
□**共催**　非核・平和をすすめる西東京市民の会
◆協働コミュニティ課保(☎042－438－4046)

戦災パネル展示の様子

イベントの様子

❖「西東京市戦災パネル」「1t爆弾模型」の展示
時 4月9日㈯～12日㈫午前10時～午後9時(最終日は午後3時まで)

❖「忘れてはいけない記憶 ～西東京市にもあった戦争～」の上映
時 4月9日㈯・10日㈰午後0時30分・4時
4月12日㈫午後1時30分
内 戦後70年の節目に、戦争を風化させることなく次世代に伝えていく取組として制作した映像の上映

西東京市平和の日を防災無線で呼び掛けます
空襲による犠牲者のご冥福と世界の恒久平和を願い、4月12日㈰午後1時から防災無線で「西東京市平和の日」を呼び掛けます。ご理解・ご協力をお願いします。

❖イベントスケジュール

4月9日㈯	
午後1時	語り(西東京市平和の日朗読・語りの会)
2時	4月12日の空襲体験(吉原隆男さん)
3時	ギター弾き語り(和／NAGOMI)
4月10日㈰	
午後1時	朗読(朗読の会　たまゆら)
2時	講演(松岡千里さん武蔵野女子学院教諭)
3時	ステージダンス(ダンスサークル M's spirit ＆ K's spirit)
4月12日㈫	
午後1時	記念式典・紙芝居「タイムスリップ」

長崎で平和の取材をする「親子記者」を募集
親子で記者になり、長崎で被爆地の様子や被爆した方などについて取材してみませんか。
※本事業は、西東京市が加盟している日本非核宣言自治体協議会が実施しています。
時 8月8日㈪午後2時30分～8月11日㈷正午
対 平和・原爆・核兵器廃絶に関心のある、市内在住の小学4～6年生と保護者(各1人)
※過去に参加した方の応募はご遠慮ください。
申 5月9日㈪(必着)までに、はがき・Eメールで住所、小学生と保護者の氏名(ふりがな)・性別、学年(4月1日現在)、学校名、電話番号、平和を願う一言メッセージを問へ
問 日本非核宣言自治体協議会事務局(〒852－8117長崎市平野町7－8長崎市平和推進課内・☎095－844－9923・✉info@nucfreejapan.com)
◆協働コミュニティ課保(☎042－438－4046)

りさいくる市

時 4月3日㈰
午前9時ごろ～正午
場 エコプラザ西東京
※環境保護のため徒歩・自転車での来場にご協力ください。
※当日、地元産野菜の販売、茶わんのリサイクル、猫の里親探し・譲渡会があります。
◆ごみ減量推進課
(☎042－438－4043)

資源物の持込回収

会場で、次の資源品を無料で回収します。受付までご持参ください。

プラスチック製品	バケツ・ポリタンク・プランター・カゴ・ごみ箱など
陶磁器食器 ※ごみ資源化市民会議主催	茶わん・皿・小鉢・湯飲み ※ガラス・花瓶・土鍋・自作品は回収不可

「りさいくる市」フリーマーケット出店者募集

時 5月1日㈰午前9時ごろ～正午
場 田無庁舎市民広場(雨天中止)
□**出店資格**　成人で市内在住の個人・団体(業としている方を除く)
□**募集区画数**　65区画(1区画約3.5㎡)
※出店場所の選択は不可
申 4月11日㈪(消印有効)までに、往復はがきで参加者全員の氏名(ふりがな)、代表者の住所・年齢・電話番号、出店物(衣類・雑貨など)を、〒202－0011泉町3－12－35ごみ減量推進課へ(応募は1世帯1通。当日の参加者による申込に限る。申込多数の場合は抽選)
※飲食物・動植物などの販売不可
◆ごみ減量推進課
(☎042－438－4043)

多摩六都科学館ナビ

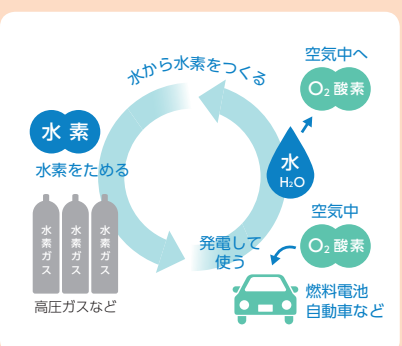
大型映像 ポラリス

科学者になりたいペンギンと、ものづくりが得意なシロクマが宇宙を大冒険！ 南極や北極の氷のナゾに挑みます。
時 4月7日㈭までは毎日、4月9日㈯～7月10日㈰は土・日曜日、祝日のみ(午前11時50分、午後2時30分)
¥ 観覧付入館券 大人1,000円、4歳～高校生400円
問 多摩六都科学館(☎042－469－6100)
※4月休館日：8日㈮、11日㈪～14日㈭、18日㈪～25日㈪

ロクト・サイエンス・コラム㉓ 水素社会を眺めて

かれこれ10年以上前から「燃料電池」という言葉を耳にするようになりました。これは水素を利用した発電システムのことを意味しており、
①水を水素と酸素に分解する
②水素をためる
③水素と酸素から水を合成する
ときに発生する電気を利用する
というステップから成ります。
水－水素循環は、カーボンフリー、エネルギー資源の観点から、新時代のエネルギー供給源として期待が高まっています。しかし、水素を作り、安全にためる技術に課題が残っているのも事実です。

今年は水素が発見されてから250年。節目の年に、水素社会も選択肢の一つとして、エネルギーの未来について考えてみましょう。



協力：KEK

R100 古紙配合率100%再生紙 白色度70%
VEGETABLE OIL INK